



실리콘밸리 AI 영화페스티벌 코리아 2026
Silicon Valley AI Film Festival Korea 2026



글로벌 AI IDOL 어워드 2026 · 사전 쇼케이스
Global AI IDOL Award 2026 · Showcase

SVAIFF KOREA 2026 プレスリリースシリーズ ① 概要 2026.10.24

「わたしがつくったAI映画、シリコンバレーへ行く」 — SVAIFF KOREA 2026 作品募集

- 10月25日から11月25日まで受付...12月17日、ソウル三成洞 Gabin Art Hall で開催
- 賞金総額3,000万ウォン・グランプリ1,000万ウォン...
韓国大会の受賞作50本がシリコンバレーのグローバル決勝へ進出
- グローバルAI IDOLアワード2026を同時開催...JI LIN共同組織委員長の後援により応募・観覧ともに無料

E-Park AI株式会社（代表 INGANG SONG）と韓国AIマーケティング研究所（代表 Dong-hyun Lee）が主催し、シリコンバレーAI映画祭コリア組織委員会（共同組織委員長 Young-sang Kim・JI LIN）とMBIG株式会社（代表 Doo-seong Choi）が共同主管する『SVAIFF KOREA 2026』（シリコンバレーAI映画祭コリア2026）が、10月25日から11月25日まで作品を募集する。同じ日、同じ会場では『グローバルAI IDOLアワード2026』も開催される。



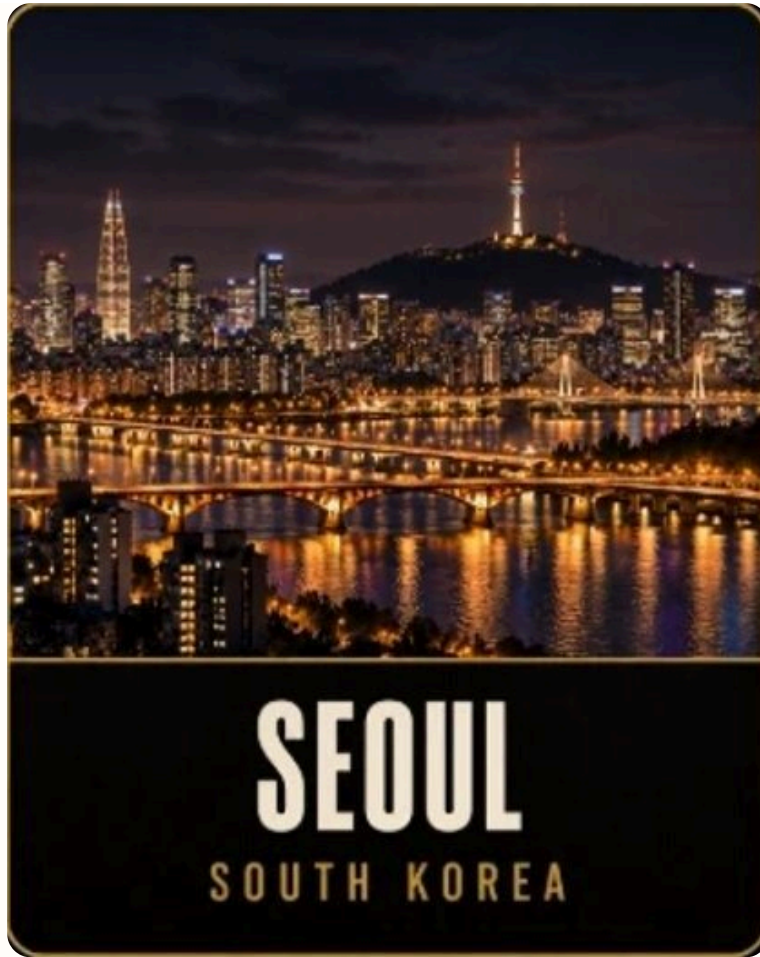
SVAIFFグローバルネットワーク——10の都市・地域を結ぶ映画祭

SVAIFF KOREA 2026 組織委員会・AI生成画像

ソウルで受賞し、シリコンバレーへ

「わたしがつくったAI映画、シリコンバレーへ行く」をスローガンに掲げる今回の映画祭は、生成AIを活用した映画・映像作品を発掘し、韓国のクリエイターが国際舞台とつながる機会をつくるために企画された。作品に込められたクリエイターのまなざしと物語、新しい映像表現に光を当て、クリエイターと観客、技術・コンテンツ産業の関係者が一堂に会する祭典をめざす。

SVAIFFは、シリコンバレー、ロサンゼルス、ボストン、ソウル、北京、上海、ニューヨーク、ロンドン、パリ、深圳など10の都市・地域を結ぶグローバルネットワークとして運営されている。韓国大会の受賞作50本は、2027年1月に米国シリコンバレーで開かれるグローバル決勝に進出し、国際舞台へとつながる（賞金受賞19本は決勝の審査料を主催者側が負担、決勝進出奨励賞31本は自己負担）。グローバル決勝は協力関係にある別の主催者（Star Alliance Culture Inc.）が独立して運営し、決勝の審査・日程・条件は決勝側が定める。



SVAIFFグローバルネットワークのソウル大会、SVAIFF KOREA
2026

SVAIFF KOREA 2026 組織委員会・AI生成画像

賞金総額3,000万ウォン、50名（組）を表彰

今回の韓国大会は、グランプリ賞金1,000万ウォンを含む賞金総額3,000万ウォン規模で開かれる。12部門19名（組）に賞金と賞状、世界共通のトロフィーを授与し、決勝進出奨励賞31名（組）を加えて計50名（組）を表彰する。1作品が受けられる賞はひとつだが、映画部門の賞とBest AI Idolは同時に受賞できる。

賞金受賞者19名（組）はグローバル決勝に必ず出品し、決勝の審査料（1作品99ドル）は主催者側が代わりに支払う。決勝進出奨励賞31名（組）は賞状と決勝進出証明書を受け取り、決勝に出品するかどうかを自ら決める。出品する場合の審査料は本人負担で、出品しなくても受賞は維持される。受賞作が決勝のどの部門に出品されるかは、主催者側の審査委員会がグローバルの表彰項目に合わせて決める。受賞作には、CESでの上映、アートセンターでの展示、Meta Oriental インキュベーション候補への推薦などの特典もある。

参加費のない公益型イベント

今回のイベントは、参加費、有料席、物品販売のない公益型イベントとして行われる。イベントの後援者としても名乗りを上げたJI LIN共同組織委員長の後援により、応募と観覧はいずれも無料だ。客席は招待者を優先して配席し、残りの席は無料の事前登録で受け付ける。ケータリングも無料で提供する。賞金を受ける受賞作19本については決勝の審査料まで主催者側が負担するため、クリエイターは費用を気にせず作品づくりに集中できる。



Gabin Art Hall の客席——観覧は無料、招待者を優先し、残席は無料の事前登録で受付

Gabin Art Hall

募集部門と審査

募集部門は、AI劇映画（ナラティブ）、AIアニメーション、AIドキュメンタリー、AI広告、AIミュージックビデオ、AI IDOL（AIアイドル）、アリラン Kカルチャー部門で構成される。青少年・大学生クリエイター向けの別枠の賞と特別賞も準備する。

審査は、完成作75点（物語・構成、演出・完成度、芸術・視覚表現、AI結果の実現、編集・音楽・音響）と創作過程25点（意図・設計、学習・参考、失敗・修正、本人の役割）で評価する。応募者は映像とともに2ページ分の創作説明と根拠シーン3つを提出する。文章力やAIの使用量、

学歴は採点しない。作品を完成させた応募者が「審査版確定」を行うと、その作品から11月1日以降、確定順に1次予備審査を進める。

同時開催のグローバルAI IDOLアワード2026

シリコンバレーAI映画祭と手を組み韓国で独自に企画した『グローバルAI IDOLアワード2026』が、同じ日、同じ会場で開催される。今年は2027年の本格開催に先立つプレショーケースとして、AIアイドルと関連コンテンツを観客と業界に紹介する。Best AI Idol 1名に賞金350万ウォンを授与する。

12月17日、Gabin Art Hall

イベントは12月17日（木）、ソウル江南区三成洞の Gabin Art Hall で開かれる。午後1時30分の第1部AIカンファレンス・トークショーに始まり、3時30分の第2部受賞作セレクト上映、6時の第3部授賞式と祝賀公演へと続く。詳細なセッション、上映作品、出演者は順次発表する。



Gabin Art Hall のステージ——12月17日、授賞式と祝賀公演が行われる

Gabin Art Hall

イベントのテーマは「ふたつの半分、ひとつの月」。上下ふたつの半분을別々に成形し、
人の手でつなぎ合わせる月壺のように、
人の手とAIが触れ合って新しい物語を完成させるという意味を込めた。テーマと哲学、
特別招待作家については、このシリーズの3本目の記事で詳しく伝える。



イベントのテーマ「ふたつの半分、ひとつの月」を象徴する月壺
SVAIFF KOREA 2026 組織委員会・AI生成画像

ひと目でわかる概要

イベント名	SVAIFF KOREA 2026・グローバルAI IDOLアワード2026
応募期間	2026年10月25日～11月25日
開催日時	2026年12月17日（木）13:30～19:30
会場	ソウル江南区三成洞 Gabin Art Hall
表彰	50名（組） — 賞金受賞 12部門19名（組）、決勝進出奨励賞31名（組）
賞金	賞金総額3,000万ウォン、グランプリ1,000万ウォン / Best AI Idol 350万ウォン
参加費	なし — 応募・観覧無料（公益型イベント）
主催	E-Park AI株式会社、韓国AIマーケティング研究所
共同主管	シリコンバレーAI映画祭コリア組織委員会、MBIG株式会社
応募受付	korea.svaiff.com「応募する」
取材のお問い合わせ	SVAIFF KOREA 2026 事務局・ help@svaiffkorea.com

#SVAIFFKOREA2026

#SVAIFF

#グローバルAIIDOLアワード2026

#AI映画祭

#AI映画

#AI映画コンテスト

#生成AI

#応募無料

#公益型イベント

#GabinArtHall

#シリコンバレーグローバル決勝

#BestAIIdol

取材のお問い合わせ SVAIFF KOREA 2026 事務局・メール：help@svaiffkorea.com
SVAIFF KOREA 2026・korea.svaiff.com